

平成21年5月の完全失業率等の状況

京都労働局

1 概 況

△「完全失業率」は、全国は5.2%、前月より0.2ポイント上昇。
近畿は5.1%、前月より0.3ポイント低下。

△「有効求人倍率」は、全国は0.44倍、前月より0.02ポイント低下。
京都府は0.52倍、前月より0.03ポイント低下。

全国の完全失業者数は原数値で347万人、前年同月差77万人増。

うち非自発的離職による者は151万人で、前年同月差57万人増。

正社員有効求人倍率は全国が0.24倍、京都が0.30倍。

2 主な指標

(1) 完全失業率及び完全失業者数

		4月	5月	前月との増減
全 国	完全失業率	5.0% (4.0)	5.2% (4.0)	0.2ポイント上昇
	完全失業者数	346万人 (275)	347万人 (270)	1万人増加
近 畿	完全失業率	5.4% (4.6)	5.1% (4.4)	0.3ポイント低下
	完全失業者数	56万人 (48)	53万人 (47)	3万人減少

※資料出所…総務省労働力調査、()内は前年同月、失業率は季節調整値、失業者数は原数値

(2) 有効求人倍率

		4月	5月	前月との増減
全 国	有効求人倍率	0.46倍 (0.93)	0.44倍 (0.93)	0.02ポイント低下
	有効求人倍率	0.55倍 (0.89)	0.52倍 (0.89)	0.03ポイント低下

※季節調整値、()内は前年同月

【参考】

○年齢階層別完全失業率(全国・原数値)(%)

	男性	女性	合計
15～24歳	9.4	8.3	9.0
25～34歳	6.5	5.9	6.2
35～44歳	4.9	5.6	5.1
45～54歳	4.0	4.0	4.0
55～64歳	5.9	3.5	4.9

○求職理由別完全失業者数(全国・原数値)(万人)

	男性	女性	合計
非自発的理 由	104	47	151
定年・雇用契約の満了	27	13	40
勤め先や事業の都合	77	34	110
自 発 的 理 由	58	44	101
学 卒 未 就 職	11	8	18
そ の 他	34	36	70

※男女計各々について四捨五入のため、合計は必ずしも一致しない

合 計	210	137	347
-----	-----	-----	-----

※合計数値には、未回答等の集計数値を含む

全国、近畿及び京都の雇用失業情勢の推移

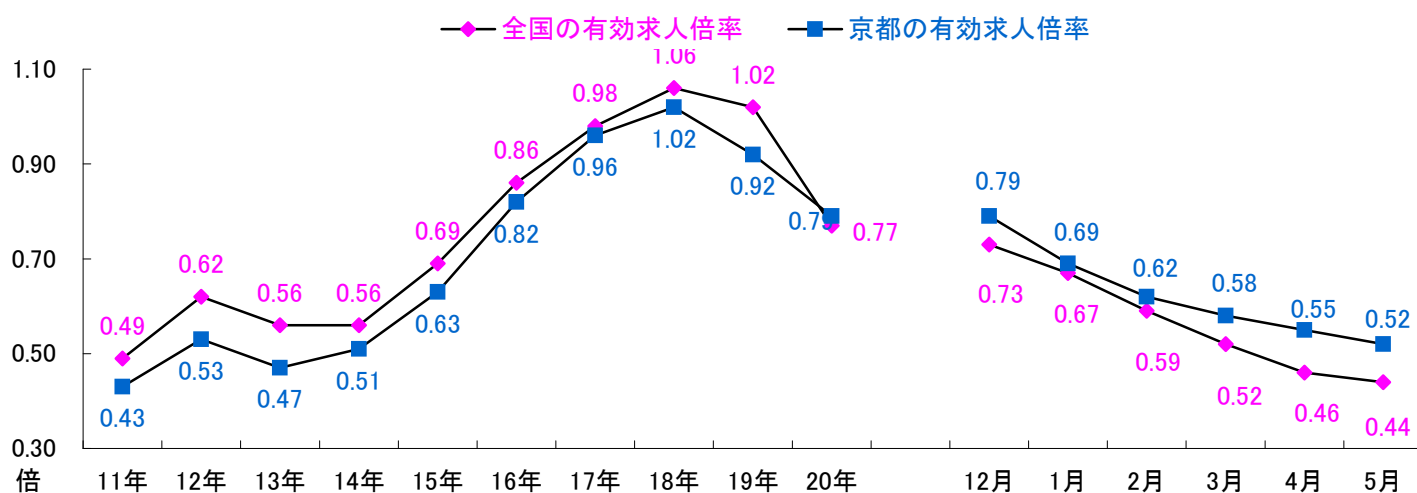
	年(年度)平均										20年		21年				
	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
全国の完全失業率 (%)	4.7	4.7	5.0	5.4	5.3	4.7	4.4	4.1	3.9	4.0	4.3	4.1	4.4	4.8	5.0	5.2	
全国の完全失業者数 (万人)	317	320	340	359	350	313	294	275	257	265	270	277	299	335	346	347	
うち非自発的 (万人)	102	102	106	151	146	118	100	88	83	88	102	107	119	134	134	151	
近畿の完全失業率 (%)	5.6	5.9	6.3	6.7	6.6	5.6	5.2	5.0	4.4	4.5	4.6	4.7	4.7	5.6	5.4	5.1	
近畿の完全失業者数 (万人)	61	63	67	71	69	58	54	52	46	47	48	48	49	58	58	53	
京都の完全失業率 (%)	5.2	5.3	5.8	6.3	6.0	5.0	4.6	4.5	4.0	4.2							
京都の完全失業者数 (千人)	72	72	79	85	80	65	60	59	53	56							
全国の有効求人倍率 (倍)※	0.49	0.62	0.56	0.56	0.69	0.86	0.98	1.06	1.02	0.77	0.73	0.67	0.59	0.52	0.46	0.44	
京都の有効求人倍率 (倍)※	0.43	0.53	0.47	0.51	0.63	0.82	0.96	1.02	0.92	0.79	0.79	0.69	0.62	0.58	0.55	0.52	

※資料出所:総務省「労働力調査」

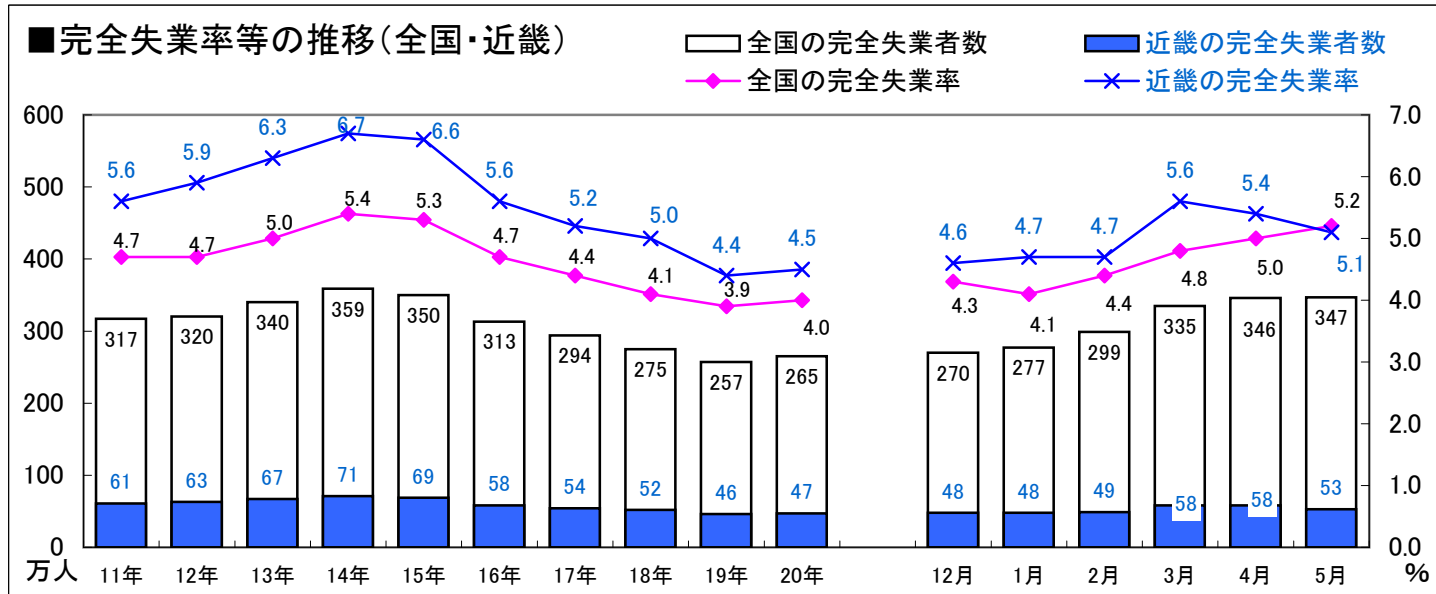
※完全失業率は年平均、有効求人倍率は年度平均

※京都府の失業率等は年平均のみ公表されている。

■有効求人倍率の推移(全国・京都)



■完全失業率等の推移(全国・近畿)



京都府の有効求人倍率等の状況

	有効求人倍率 〈季節調整値〉 ()は全国値	有効求職者の状況 〈原数値〉	有効求人 の状況 〈原数値〉	雇用保険喪失件数のうち事業主都合離職	完全失業率 の状況
平成21年 5月の状況	0.52倍 (0.44倍)	65,755人	30,743人	1,409人	近畿1～3月平均 5.0%
	4月	0.55倍	66,703人	34,180人	3,490人
平成20年 5月の状況	0.89倍 (0.93倍)	53,181人	42,606人	909人	全国5月 5.2%
	4月	0.89倍	53,576人	44,742人	1,523人
第三次平成不況 (デフレ不況) (平成13年度) 平成13年度数値	0.47倍 (0.56倍)	64,209人	30,389人	23,196人	近畿5月 4.4%
					全国5月 4.0%
第二次平成不況 (日本列島総不況) (平成10～11年度) 平成11年度数値	0.43倍 (0.49倍)	60,477人	26,199人	20,517人	全国 5.2%
					近畿 6.3%
第一次平成不況 (複合不況) (平成3～7年度) 平成7年度数値	0.46倍 (0.64倍)	46,489人	21,275人	12,124人	全国 4.7%
					近畿 5.6%
円高不況時 (昭和61～62年度) 昭和61年度数値	0.42倍 (0.62倍)	32,821人	13,884人	994人	全国 3.2%
					近畿 4.0%
第2次オイルショック (昭和52～53年度) 昭和52年度数値	0.42倍 (0.54倍)	32,363人	13,589人	1,472人	全国 2.8%
					近畿 3.1%
第1次オイルショック (昭和49～50年度) 昭和50年度数値	0.54倍 (0.59倍)	31,570人	17,149人	1,468人	全国 2.0%
					近畿 2.5%
					全国 1.9%
					近畿 2.2%

※1 有効求職者数、有効求人数、雇用保険喪失件数のうち事業主都合離職者数の年度数値は月平均である。

※2 京都の有効求人倍率の年度、全国の完全失業率の年及び、近畿の完全失業率の年・四半期及び月別は原数値である。

※3 求人倍率の季節調整値で平成20年12月以前の値については、季節調整替えにより公表値とは異なる場合がある。

※4 不景気の名前は政府の公式見解ではなく俗称で代表的なものを掲載した。

京都府内の公共職業安定所別有効求人倍率の状況

(パートタイムを含む原数値)

		有効求人倍率	有効求職者数 (人)	有効求人数 (人)
京都西陣	平成21年5月	0.57	22,296	12,768
	平成20年5月	0.92	18,169	16,790
	前年差(比)	▲ 0.35	22.7	▲ 24.0
京都七条	平成21年5月	0.50	15,525	7,789
	平成20年5月	0.82	13,096	10,714
	前年差(比)	▲ 0.32	18.5	▲ 27.3
伏見	平成21年5月	0.36	8,402	3,039
	平成20年5月	0.67	6,494	4,369
	前年差(比)	▲ 0.31	29.4	▲ 30.4
宇治	平成21年5月	0.43	6,529	2,825
	平成20年5月	0.76	5,072	3,873
	前年差(比)	▲ 0.33	28.7	▲ 27.1
京都田辺	平成21年5月	0.21	4,362	929
	平成20年5月	0.44	3,370	1,491
	前年差(比)	▲ 0.23	29.4	▲ 37.7
福知山	平成21年5月	0.37	4,003	1,487
	平成20年5月	0.90	2,893	2,604
	前年差(比)	▲ 0.53	38.4	▲ 42.9
舞鶴	平成21年5月	0.45	2,217	994
	平成20年5月	0.72	2,013	1,440
	前年差(比)	▲ 0.27	10.1	▲ 31.0
峰山	平成21年5月	0.38	2,421	912
	平成20年5月	0.64	2,074	1,325
	前年差(比)	▲ 0.26	16.7	▲ 31.2
出張所分を含む				
合計	平成21年5月	0.47 (0.52)	65,755	30,743
	平成20年5月	0.80 (0.89)	53,181	42,606
	前年比〔比〕	▲ 0.33 ▲ 0.37	23.6	▲ 27.8

※有効求人倍率の()は季節調整値

正社員の求人状況 - 京都 -

